



～地域とともにある学校をめざして～

鯨コミ

R4 CS通信No.2 R4.4.22



(コミュニティ・スクール通信) 文責 社会教育推進 DC 藤田昭彦

学校と地域が協力して行う防犯・交通安全の取組

舞戸小学校では、各教室で、タブレットを使って不審者対応の防犯教室を行いました。

担任の先生が、「いかのおすし一人前」の意味を提示すると、いか⇒ついていかない、の⇒のらない、お⇒大声をだす、す⇒すぐにげる、し⇒しらせる、一人⇒ひとりにならない、前⇒まえもってはなすことを声に出しながら覚えていました。

そして、担任の先生の指導の下で、実際に大きな声を出して逃げる練習をしました。

また、こわい、あぶない、そんな時は「いかのおすし一人前」を思い出して毎日安全に生活しようと約束していました。



西海小学校では、命を守るための交通安全教室を毎年行っています。そして、命を守ることを知っているだけでなく、命を守る行動をしていることが大事という担当の先生の話真剣に聞いていました。

その後、1・2年生20名は、外に出て、道路の歩き方や横断歩道の渡り方を練習しました。

鯨ヶ沢警察署の警察官から、手を上げるだけでなく、周りに気をつけて道路を渡るように指導された子どもたちは、信号が青になってもすぐ渡るのではなく、左右の安全を確認してから道路を渡っていました。

最後に、警察官から講評として、「今日は、周りに先生や友だちがいたが、周りに先生や友だちがいなくてもできることが大事で

す。しっかりできるように頑張ってください。」と、お話がありました。

1・2年生の皆さんは、最後までしっかりお話を聞いて、交通安全教室に参加できました。たいへん立派な態度でした。



今年度も、地域の婦人団体や町内会が協力しての子ども見守り活動が始まりました。

毎週水曜日午後3時前後、校門近くの交差点やJA付近の踏切、上野の交差点で、子どもたちが通過するまで安全を見守っています。

「黄色の帽子は1年生だね。」「〇〇さんは、黄色の帽子を卒業したね。」と声をかけると、子どもたちは、「こんにちは。」「さようなら。」と元気よく声を返していました。

今年は、陽気な天気が続き、桜の開花が早まったからでしょうか、車の通行量が多いようです。

子どもたちの安全確保に地域の協力があり、たいへん素晴らしいことです。

